

数字のべき数(n 乗)は上付き添え字で書く。
 6.08×10^{-6} $6.08E-06$ \rightarrow (正) 6.08×10^{-6}
 m^2 \rightarrow (正) m^2

化学式、変数の添え字は下付き添え字とする。
 C_2H_5OH \rightarrow (正) C_2H_5OH
 x_w \rightarrow (正) x_w

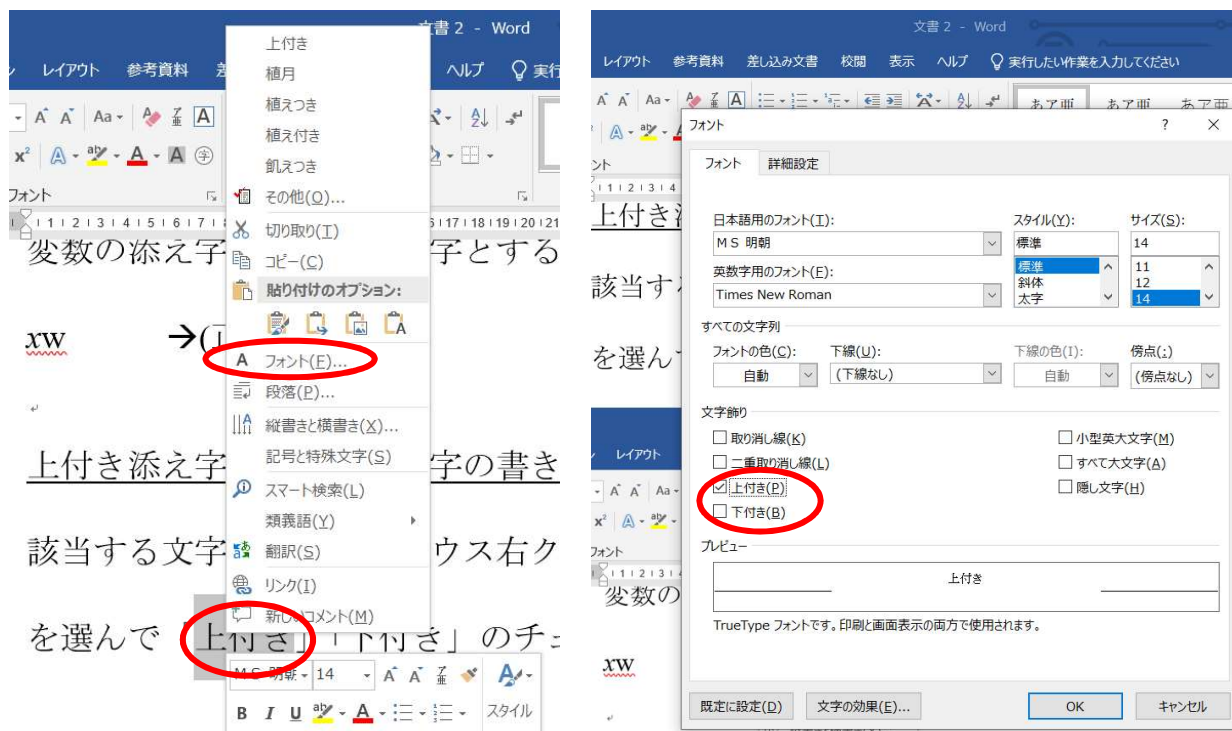
Table 1
Parameters used for pyrolysis reactions

Reaction	A (s^{-1})
wood $\xrightarrow{k_1}$ gas	1.44×10^4
wood $\xrightarrow{k_2}$ tar	4.13×10^6

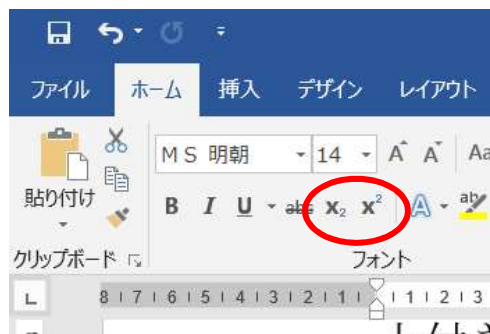
図 学術論文中の数字表記の例 M. J. Hage, *Chemical Engineering Science*, **57**, pp.2811–2823, (2002)

上付き添え字、下付き添え字の書き方

該当する文字を選択してマウス右クリック。メニューから「フォント」を選んで「上付き」「下付き」のチェックボックスを選ぶ。



自分でメニューをカスタマイズして「 x_2 」(下付き)、「 x^2 」(上付き)ボタンをおいてもよい。



数式で乗算(掛け算)記号に「*」を使うのはエクセルやプログラム言語の中だけであり、文章中には「×」(「かける」「ばつ」で変換すると出てくる)を使うこと。